GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Rotary
第2520地区

2025-2026
ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2520
GOVERNOR: TAKEHIKO KATOH

CONTENTS

ガバナーメッセージ…… 02
特別月間テーマに寄せて…… 04
行事報告…… 05
ガバナー公式訪問報告…… 10
新入会員紹介・退会者報告…… 14
クラブ会員数・寄付状況…… 15
財団表彰・寄付認証・
お知らせ・訂正とお詫び・編集後記…… 16

11 2025
月信
VOL.05

ガバナーメッセージ

「未来を育む寄付、心を磨く高潔」

国際ロータリー第2520地区ガバナー

加藤　雄彦 TAKEHIKO KATOH

菊の花とロータリーの高潔性

今月号の表紙を飾る11月の花「菊」は、清らかさと「高潔」という花言葉を持ち、古来より日本人に親しまれてきました。その気高さは、私たちロータリアンが大切にするべき資質と重なります。倫理を守り、信頼を得ながら奉仕を続ける姿勢こそが、ロータリーの力を形づくります。

奉仕の理念を掲げる私たちは、日々の活動の中で「高潔であること」を何より大切にすべきです。菊が秋の冷たい風の中でも凛として咲き誇るように、ロータリアンもまた困難の中で信念を持ち、清らかな行動を重ねていく存在でありたいと思います。

財団月間と地区の現状

今月は「ロータリー財団月間」です。ロータリー財団は、平和の推進、疾病の根絶、教育機会の拡大、地域社会の発展など、世界中に希望を届けるための大切な基盤です。

寄付によって積み上げられた資金は、3年後に地区財団活動資金(DDF)として私たちの地区に還元されます。つまり、私たちが今使っている財団資金は、3年前に仲間が託してくれた思いの結晶です。そして、私たちが寄付を積み上げることは、未来の仲間が奉仕を展開するための力となります。

ここで地区2520の最近の状況を振り返ってみましょう。

- **会員数**は2021-22年度の2,047名から2024-25年度には1,962名へと減少しました。数年で80名以上が減ったことは深刻な課題であり、会員維持・増強の取り組みが一層求められます。
- **年次基金寄付額**は一人当たり2023-24年度の64.12ドルから2024-25年度には78.06ドルへと回復しました。会員数が減少する中でも、一人あたりの寄付が伸びていることは希望です。
- **DDF（地区財団活動資金）**は2021-22年度の約19万ドルから2024-25年度には約12万6千ドルへと縮小しました。財団への寄付総額と会員数の減少が直結しており、今後の活動を左右する重要な要因です。(グラフ１)

数字だけを見ると厳しい現実ですが、その一方で前向きな兆しも見えてきています。

PPS・PHSの広がりとクラブの実績

地区内では、**PPS（ポリオプラス・ソサエティ）**への参加が着実に広がっています。2022-23年度に6名だった累計会員数は、2023-24年度に15名、そして2024-25年度には24名へと拡大しました。ここで示される数字は各年度ごとの新規加入数ではなく、累計の数字です。したがって、地区全体として時間をかけて着実に参加者が増え続けていることを意味しています。(表１)

クラブ別に見ると、仙台ロータリークラブから5名、盛岡ロータリークラブから3名、一関・石巻・北上の各クラブからそれぞれ2名ずつがPPSに加わっています。さらにその他のクラブからも1名から2名ずつ参加があり、合計で9クラブから24名がPPS会員となりました。

また、**PHS（ポール・ハリス・ソサエティ）**も累計で増加しています。これまでに大船渡ロータリークラブから1名、登米ロータリークラブから1名が新たに加わり、地区全体で6名に達しました。さらに、**33名の会員が潜在的なPHS候補者**として報告されており、今後のさらなる広がりが大いに期待されます。

このようにPPSやPHSの加入は、地区全体の財団への理解と関心が着実に深まっていることを裏づけるものです。

PPSからPHSへ続く道

寄付の流れを「道」として整理すると、会員一人ひとりが将来の自分の姿を描きやすくなります。

1.PPS（ポリオ・プラス・ソサエティ）
年額100ドルの寄付から始まる参加。ポリオ根絶を支援する行動は、ロータリアンとしての誇りです。

2.PHF（ポール・ハリス・フェロー）
年度累計1,000ドルの寄付に達すると認定され、国際的に称えられる栄誉を得ます。

3.PHS（ポール・ハリス・ソサエティ）
毎年1,000ドル以上の継続寄付を誓うことで、世界に希望を広げ続ける仲間に加わることができます。

この流れは「PPS → PHF → PHS」と自然につながっており、ポリオ根絶の支援がそのまま個人の功績となり、クラブの評価や地区全体の成果へと結びつきます。まさに“一石二鳥”の奉仕機会であり、未来への道を切り拓くステップアップの仕組みです。

尾身茂先生ご来訪と私たちの決意

2026年5月17日、盛岡にて開催される**地区ラーニングアセンブリ**において、感染症対策の第一人者である **尾身茂先生**が講師としてお越しになります。このラーニングアセンブリは、**柴田茂ガバナーエレクトが招集者**となって開催さ

れるものであり、地区にとって大変意義深い学びの場となります。

世界的に著名な尾身先生をお迎えできることは、私たちの大きな喜びであると同時に、地区全体の使命感を新たにする機会です。この場を契機として、第2520地区は「ポリオプラス上位寄付地区」を目指し、さらなる挑戦へと歩みを進めたいと考えています。

ポリオは終わりかけているように見えても、いまだ根絶には至っていません。最後の一歩を支えるのは、世界中のロータリアンの継続的な寄付と行動です。尾身先生の講演は、私たちの決意を強くする大きな力となるでしょう。

世界と若者の未来へ

財団への寄付は、ただの数字ではなく、平和を実現する力です。本年度、地区2520ではウクライナ支援に注力し、医療や教育の現場で具体的な支援を届けています。さらに、インターアクトや青少年交換を通じて、若者たちが友情と自由を語り合う場を提供しており、次世代に平和の価値を継承する活動が進んでいます。

7月に開催された地区インターアクト年次大会では、ウクライナ・チェルカースィの高校生たちが来日し、日本の高校生と共に「自由と未来」を語り合いました。若者の純粋な眼差しは、ロータリーの精神が確かに次世代へ受け継がれていることを実感させてくれました。

会員の高潔性と信頼

数字や制度だけでなく、最も大切なのは会員一人ひとりの「高潔性」です。四つのテストに基づき、「真実か」「公平か」「友情を育むか」「みんなのためになるか」を問い続けること。それが、社会における信頼を築き、クラブの活動を支える力となります。

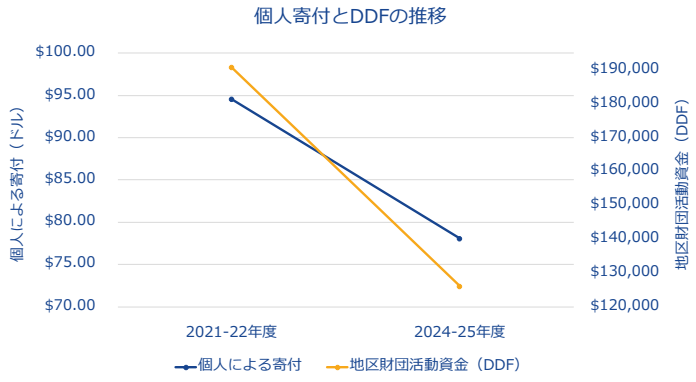
菊が秋空の下で凛と咲くように、私たちもまた奉仕の精神を清らかに保ち、行動で示していきたいと思います。

結びに

会員数の減少や財団資金の縮小という課題を抱えつつも、PPSやPHSの拡大、そして2026年5月17日の尾身茂先生ご来訪という追い風を受け、私たちの地区は新たな挑戦に臨もうとしています。

11月、菊の花が凛と咲くように、私たちもまた高潔さを胸に、奉仕と寄付を通じて未来を拓きましょう。**第2520地区が「ポリオプラス上位寄付地区」として歩みを進めることを、心から願っています。**

地区財団活動資金の活用



会員数・寄付額等の推移

年度	21-22	22-23	23-24	24-25
D2520会員数	2,047	2,006	1,966	1,962
年次基金寄付額	$94.55	$84.78	$64.12	$78.06
DDF額	$190,758.04	$139,631.05	$130,130.42	$126,006.56
PPS会員数	-	6	15	24
PHS会員数	4	5	5	6
PHS潜在的会員数	-	-	-	33

特別月間テーマに寄せて

インパクトにつながる『積み木』

地区財団委員長

伊藤　智仁（花巻南RC）

財団月間にあたり、奉仕プロジェクトを進める際の基本的考えとなるインパクトにつながる「積み木」について説明します。

ロータリー財団の最も輝かしい取り組みはポリオ根絶活動です。1979年にフィリピンで600万人以上のポリオワクチンを提供したのが始まりです。

そして、1985年に「ポリオプラス」プログラムとして正式に発足し40年が経過しました。当初は年に30万人の発症のある野生株ポリオでしたが、現在はアフガニスタンとパキスタンのみとなり発症数は年30件以下です。ここに至るまでロータリーは世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）の先頭に立って26億ドル（3800億円）以上を投入しました。残念ながらいまだ根絶を意味するゼロには苦戦しております。しかし、スタートからの10年で激減させた実績から推定すれば（（30万人×10年）÷2）＋（30万人×30年）として1050万人を健康で世に送り出したことになります。もっとも11年目以降は、計算期間を長くすれば数値が増えるので語るに値しません。

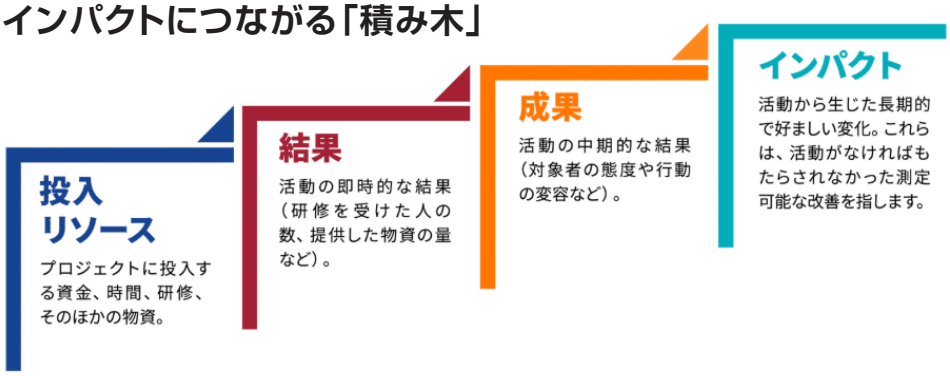
これを、フレームワーク「変化の論理」に乗せて説明します。

ロータリーの会員が数え切れないほどの時間を奉仕活動にささげ、ポリオの予防接種活動に努めてきた姿はインプットです。当面の結果は、インプット（投入）した資金や人頭、接種回数など取組自体を数値測定することで表現されます。その結果、次にポリオ症例が減少し、医療インフラの改善や予防接種率の上昇・ワクチン接種に対する需要の高まりがみられ効果を実感できます。これから先がインパクト（影響）でポリオ根絶活動に端を発した活動で、より多くの人材を社会に送り出し、取組みを通じて磨いたノウハウは大災害や紛争下における医療活動を確実なものにし、エイズ・エボラ・新型コロナなどのパンデミックにも適切に対処できたなど多くを磨いてきました。

単に当面の結果や成果だけを求める段階で終わっていれば、ポリオ根絶活動から生まれる副次的な影響は出てこなかったわけです。この様にとらえると、発症数ゼロを目指す段階は終え根元を断ち切る研鑽に力を注いでいると感じます。当初「ポリオ撲滅」と表現していた活動が「根絶」と表現を変えた段階で、巷で交わされる「いつまでポリオ取組を続けるのですか」という命題を乗り越え、時同じくしてこのあたりからインパクトという言葉も登場した気がします。

因みに、分母の大きな間の取組はインプットに応じた結果や成果を確認できますが、社会に変化を齎すレベルになると、効果が見えにくくなって当然です。

インパクトにつながる「積み木」



行事報告

「2024−25年度　デジタル達成証」
「2024−25年度　ローターアクト寄付達成証」

国際ロータリー 第2520地区 仙台泉ローターアクトクラブ

直前会長 友部　匡博

このたび、2024-25年度ローターアクト寄付達成証ならびに、ロータリー財団管理委員長マーク・ダニエル・マローニー氏よりデジタル達成証を拝受いたしましたことを、心より光栄に存じます。2024年10月には、他団体の企画する仙台市泉区の西部地区において開催された「IZUMIコメフェス」に参加し、地元で採れた野菜を使い、芋煮（山形醤油味）を調理・販売いたしました。その収益に加え、当日実施いたしましたポリオ募金活動によるご厚志をロータリー財団のポリオプラス基金へ、またクラブ会員からの寄付を年次基金へとお届けいたしました。

大切なことは、クラブ会員一人ひとりが奉仕活動に喜びと達成感や充実感を見いだし、居心地の良いクラブとしての魅力を保ち続けることにあります。そのような環境は必然的に会員増強や新たな活動への意欲を生み出します。今後も毎年の恒例とされる伝統活動の継続にとどまらず、新たな挑戦を重ねつつ、ロータリー財団を通じての貢献に努めてまいります。世界では志を共にする1,036のローターアクトクラブとその仲間たちがいます。私たちはその同志と共にいる喜びを勇気とパワーに変え、今年度もさらに前進していきたいと思います。

大崎ゾーン4クラブ合同での地区補助金を使った奉仕事業

ガバナーノミニー

早坂　竜太（古川東RC）

大崎ゾーン4クラブ（古川東RC、古川RC、岩出山RC、加美RC）による「世界かんがい施設遺産の環境保全団体への支援事業」が2025.9.11河北新報に掲載されました

大崎・世界かんがい施設遺産

保全3団体に管理機材寄贈

市内4ロータリーク「地元の宝」

古川ロータリークラブなど大崎地方の四つの国際ロータリークラブが8日、大崎市の世界かんがい施設遺産の「南原穴堰」（鳴子温泉）と「内川」（岩出山）の維持管理に使う機材を地元の3団体に寄贈した。

大崎地方の4クラブは古川、古川東、加美、岩出山。南原穴堰水利組合、大崎土地改良区、内川・ふるさと保全隊の3団体にチェーンソーや発電機など総額計30万円の機材を贈った。

大崎市役所で贈呈式があり、宮城・岩手両県をカバーする国際ロータリー第2520地区の早坂竜太・ガバナーノミニー（大崎ゾーン・ガバナー補佐）が「地元の宝を維持管理している方々に必要な機材を届けると同時に保全活動にも協力したい」とあいさつした。

2024年に世界かんがい施設遺産に登録された南原穴堰を管理する地元水利組合の上野孝作組合長は「世界遺産に登録後、年間200人以上が視察に訪れている。機材は穴堰の日常の維持管理に使いたい」と感謝した。

世界かんがい施設遺産の維持保全に使う寄付品の贈呈式

【修正あり】1段落目の「四つの国際ロータリークラブ」を「四つのロータリークラブに訂正。
2025.9.11河北新報社掲載記事（2025.9.25掲載許可）

①大崎土地改良区②内川・ふるさと保全隊③南原穴堰（みなみはらあなぜき）水利組合の計３団体に対し、各団体が必要とする環境保全・人材育成に関わる機材を寄贈しました。「世界農業遺産―大崎耕土」「ラムサール条約登録湿地」「世界かんがい施設遺産」という大崎が誇る多くの「世界の宝」を守るためには、地域住民・団体による日頃の環境保全活動と人材育成が欠かせません。少子高齢化と過疎が進む当地において、前述３団体への支援は、地域社会はもとより世界に貢献することになり、地域を誇りに思う心を醸成することで、持続可能な地域社会の構築に寄与できたものと考えます。

2025-26年度地区RYLA 開催報告

地区RYLA委員会
委員長 小野　智哉

去る9月6日(土)～7日(日)の2日間にわたり、東松島市にて2025-2026年度の当地区RYLA＜ロータリー青少年指導者養成プログラム＞を“Take Action ～今、私たちに出来ること～ ”をテーマに開催致しました。

今回は2年ぶりに宿泊を伴う日程での企画となりましたが、地区内からインターアクトクラブとローターアクトクラブ、青少年交換長期来日生、米山記念奨学生を含む多くの青少年の皆様に加えて、地区役員をはじめとするロータリアンの皆様、総勢50名の皆様にご参加をいただきました。今年度のRYLAは加藤ガバナーの「東日本大震災から間もなく15年を迎える折に被災された地域での開催と学びを」という思いを受けまして、震災で被災し閉校となった野蒜小学校を利用し震災伝承と防災の教訓を伝える活動を行っている「未来学舎 KIBOTCHA（キボッチャ）」様に全面的にご協力をいただき開催させていただきました。

1日目は震災で多くの被害と犠牲が出た東松島市・野蒜地区を震災の語り部ガイドツアーで訪れ、この場所で何が起きたのか、なぜ大きな被害が出てしまったのか…住民からの視点での語られるお話に耳を傾けました。その後は今後も起こり得る災害に備えて生き延びる術についてのお話や、非常時に役立つロープワークや簡易担架の作り方を実際に学び、夜は満天の星空の下、バーベキューの夕食。この頃には参加者同士が打ち解け、各世代の枠を超え和気あいあいとした楽しい時間を過ごすことが出来ました。

2日目は「野蒜海岸」にて地元で日頃からビーチクリーン活動を行っている団体のご指導を受けながら、全員で海岸を1時間程度の清掃活動。爽快な青空の下、海岸に流れ着いた多くのゴミと格闘しながら清掃活動に汗を流しました。その後は「KIBOTCHA」について、施設の方より成り立ちや今後の展望についてのご説明をいただき、2日間の充実したプログラムを終了いたしました。

今回のRYLAで得た経験と知識がこれからの次世代を担う若者の活動に活かされて行くことを望みます。

私たち委員会メンバーは青少年奉仕(若者の育成、支援、連携、地位向上)こそが“未来への希望”であり、持続可能な社会の構築に直結するものと信じ、RYLAがその一助となるようにと考えております。ロータリアンの皆様おかれましては、今後とも本プログラムの主旨と意義をご理解いただき、より多くの若者(青少年)に機会を提供いただけるよう、ご協力の程、宜しくお願い致します。

土屋　遼人

ロータリー青少年指導者養成プログラムに参加して

今回のプログラムで東日本大震災の教訓について学んだことは、防災意識を高める貴重な機会となりました。特に印象的だったのは、被災地をめぐる「語り部ツアー」と、元自衛隊員の方から学ぶ「防災体験」です。使命感をもって震災の記憶を風化させないために活動されている皆さんに敬意を感じ、自分もできることをしようと心に決めました。いざという時の身の守り方を知れたことは、これからの人生においても非常に重要だと感じます。また、ビーチクリーンでは環境問題についても考え、地域の方々との交流を通じて、人と人が助け合うことの大切さを再認識しました。この経験で得た知識と仲間との絆を大切に、今後の生活に活かしていきたいです。

RYLA感想文（名取高校のみなさん）

1日目は、震災で津波に遭った方の話を聞き、とても胸が痛くなりました。特にいつもの生活が一瞬でなくなってしまうことや、大切な人と急に会えなくなることの恐ろしさを実感しました。体験した人の話を聞くと、テレビなどとは比べ物にならないリアルさが伝わってきました。また、命綱の結び方や簡易担架の作り方も学び、他校の人たちと協力しながら命を守る方法を考える貴重な体験ができました。

2日目は、被災地でのビーチクリーンに参加し、震災の記憶を風化させないことの大切さを感じました。

これら様々な活動を通して、他校の人とも仲が深まり、普段の学校生活では味わえない特別な時間を過ごせました。

成（ソン）　晋宇（ジンウ）

【25-26 RYLA】

RYLA研修に参加し、まず心に深く残ったのは震災語り部ツアーでした。まるで一編の荘厳な映画を鑑賞しているかのように引き込まれ、ガイドの方の生々しい体験談とそこに込められた悲しみ、そして哀悼の思いに触れる中で、災害への警鐘を強く感じると同時に、自分自身の人生への向き合い方を見直す大きなきっかけとなりました。さらに、防災体験やビーチクリーン活動では仲間と力を合わせる喜びを実感し、ロータリーという団体が若者の学びや社会貢献を支えている意義を深く理解することができました。そして今回の研修を通じて、奉仕は単なる支援ではなく、リーダーシップの重要な一形態であることに気づきました。今後は、リーダーシップと奉仕の心の両方を兼ね備え、社会を支える柱の一人として成長していきたいと強く感じています。

舘洞　光
（国際ロータリー
第2520地区
宮古RAC幹事）

「2025-2026年度 地区RYLAへ参加して」

この度は、2025-2026年度　地区RYLAにご招待いただき、誠にありがとうございました。

私は現在RAC役員として活動しているのですが、私は今までRYLAに参加したことが無く、今回が初めての参加でした。そのような中でも、皆様方が心暖かく我々を歓迎していただき、2日間の活動を通して様々な方々とコミュニケーションを計ることが出来、大変楽しく充実した2日間となりました。震災語り部バスツアーでの、ガイドの方が最後に仰っていた「今生きていることが奇跡」と言う言葉はとても印象に残りました。今後人生の中でどんなに失敗しても、この言葉を思い出せば次の目標へ向かう第一歩とも捉えることが出来、大変良い経験となりました。

佐藤　功樹
（北上RC推薦社会人）

「2025-2026年度 地区RYLAへ参加して」

語り部ツアーでの緑豊かな山々も、ビーチクリーンでの広く穏やかな海を臨む野蒜海岸も、東松島の風景はどれも心に染み入るような美しさでした。

2011年3月11日の直後、私がボランティアに同行した際、何一つ元の形を保っていない風景の中だったことが強く心に残っています。

当時の自分の活動が、被災地の方への手助けになったのだろうか、と今でも度々振り返ります。

此度参加させていただき、長い時間と人の手をかけて、今の東松島の姿があるのだと、震災直後の風景の記憶と重ねながら深く実感致しました。

過去を学び、今の自分に出来ることを行う。そのことが将来へとつながっているのだと胸に刻み、これからも地域への貢献に取り組んで参ります。

「秋の海ごみゼロウィーク」活動に参加しました（ロータリー奉仕デー）

第4分区・釜石東ロータリークラブ

2025年9月27日、両石町桐島海岸にて、かまいし環境ネットワーク主催の「秋の海ごみゼロウィーク」活動に参加しました。

参加者は、かまいし環境ネットワーク、ソロプチミスト、釜石RC、釜石東ＲＣ、釜石警察署、市役所などの会員・家族でした。

ペットボトル、発泡スチロール、ビニール袋、PPロープなど自然界では分解しにくいゴミは、海から打ち上げられたもの、山の方から流れてきたもの沢山ありました。

ゴミ拾いをしていてこの何倍ものゴミが海に浮遊し、ゴミを食べた鳥やカメが死んだり、マイクロプラスチックとなり魚の体内に蓄積され、その魚を食べた人への影響を考えるとぞっとしました。

今回で３回目の参加となりますが、持続可能な開発目標SDGsや、ロータリークラブ 7つの重点分野の一つである「環境の保護」について意識し行動することが大切であると感じました。

ペットボトル

プラスチックのブイ

発泡スチロール

PP ロープ

集合写真（収集したゴミ 約80kg）

2025-2026年度　ロータリーデー清掃活動開催報告

第4分区・山田ロータリークラブ

秋分の日、天候にも恵まれ絶好の清掃活動日でした。前週の山田祭り後でしたが、中学生ボランティアの活動の成果でゴミは少なかったです。

参加会員のほとんどが山田祭りに参加しており、２日半町内を練り歩いた筋肉痛も程よくほぐれておりました。

行事報告

登米市産業フェスティバル　ポリオ撲滅のPR活動報告

加藤　亮（佐沼RC）

2025年10月5日に登米市迫体育館及び中江中央公園にて登米市産業フェスティバルが開催され、今年も佐沼ロータリークラブにてブースを出展しロータリー活動やポリオ撲滅のPRをしました。

今回は加藤ガバナーの仙台育英学園高等学校東和蛍雪校舎のインドネシア留学生１２名の方にも参加して頂きエンドポリオキャンペーンのPR活動をお手伝い頂きました。

会場内の来場者に積極的に話しかけ、パソコン上にてポリオに関するクイズやポリオインベーダーゲームを通して多くの方へ楽しくPR活動をしていただきました。

昨年まではなかなか一般のお客様が立ち寄ることはなかったですが、今年は赤いエンドポリオTシャツを着たインドネシア人の若い生徒さんたちが多くの人たちの目にとまり、老若男女問わず多くの方に座って参加頂き有意義なPR活動となりました。

「小学校・中学校における不登校の児童への支援に取り組んで」

仙台ロータリークラブ
社会奉仕委員長　今野　克二

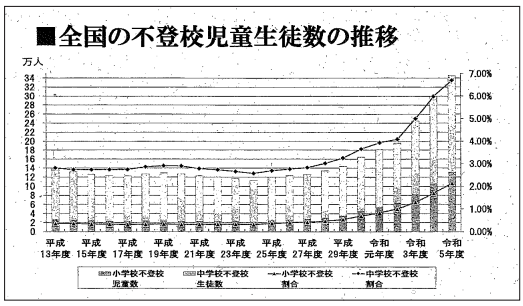
昨年11月頃、テレビ・新聞等の報道で、宮城県内の不登校児童生徒の数が、全国最多となった事（1,000人あたりの数が46.7人）を知り、2023年度には1,652人増加して、7,840人にもなりました。また仙台市も全国と同様の傾向とは言え、毎年500人も増加しており、2023年度には、3,128人にもなっております。

そこで、西條会長・大城幹事と、仙台市教育支援センター「児遊の杜」を訪問し、実情とご要望を伺う事ができました。
加藤ガバナーからも助言を頂き、さらに教育支援センターさんと打合わせ検討を重ね、一般の学校より不足している設備、子ども達が楽しく過ごす事で、コミュニケーションを深められる道具、そしてオンライン授業やメタバースの中で、アバターを使った登校シミュレーションの機材等を支援する事ができました。

仙台市教育支援センター長の話しを伺って、親の子どもへの接し方、コミュニケーションが子育てにはいかに大切かという事を学ぶ事ができました。

①仙台市教育長から西條会長へ感謝状贈呈

②③寄贈した大型ディスプレイ9台、電子黒板、カメラ、PC、ボードゲーム類



ガバナー公式訪問報告

第6分区 古川東ロータリークラブ

■ 開催日：9月2日（火）　■ 会場：旬味酒菜　中鉢本館
■ 同行者：早坂 竜太 ガバナー補佐

本年度、古川東ロータリー単独開催にてガバナー公式訪問、例会を開催いたしました。例会に先立ち、会長幹事会においては早坂ガバナー補佐の進行のもと和やかな雰囲気の中で加藤雄彦ガバナーと懇談でき、貴重な時間を共有することが出来ました。その中で事前に加藤ガバナーより頂いていたクラブ戦略計画についてもお褒めのお言葉を頂き、これからもクラブの運営や活動について検討し、更新しながら成長して行かねばならないと気づきの場を与えて頂きました。

また、例会時においては加藤ガバナーより国際ロータリーのお話や4つの優先事項、またポリオ撲滅運動についてのご講話を頂戴し、会員一同とても有意義な例会を過ごすことができました。

加藤雄彦ガバナーにはご多忙の中、ご訪問を頂きまして誠に有難うございました。

（報告者：山村 徳洋／古川東RC幹事）

第5分区 佐沼ロータリークラブ

■ 開催日：9月11日（木）　■ 会場：ホテルサンシャイン佐沼
■ 同行者：高橋 利光 ガバナー補佐

会長幹事会ではスポンサークラブの仙台ロータリークラブ所属である加藤ガバナーより当クラブに対して、多くのとても意義のあるご提案を頂きました。ひとつは仙台ロータリークラブで行っている職場訪問例会に当クラブでも参加できればという内容であり、当クラブが例年訪問できる企業様が少なくなってきているところだったので、すごく可能性があり助かるご提案でありました。また、登米市産業フェスティバルに毎年、ロータリーブースを設置してロータリー活動やポリオ撲滅をPRしているところでありますが、そちらに登米市東和町にあります、ガバナーの仙台育英学園蛍雪校舎の留学生を派遣して頂くご提案を頂きました。こちらも例年参加人数も少なく、インパクトやPR不足のところがあるところでしたので、すごく有難いご提案でありました。親身になって当クラブの事情を察しいただきながら素晴らしいご指導を頂いたものと感じました。

例会での加藤ガバナーの講演ではわかりやすく、映像や音楽を取入れて心に響くご講演をいただきまして感銘を受けました。その後の懇親会でも各テーブル一人ひとりと会話頂きガバナーが身近に感じられ、ロータリーでの好意と友情を深められる良き機会となりました。誠にありがとうございました。（報告者:加藤 亮／佐沼RC幹事）

第3分区 一関、一関中央、花泉ロータリークラブ（3クラブ合同）

■ 開催日：9月12日（金）　■ 会場：ホテル松の薫一関
■ 同行者：遠藤　智子 ガバナー補佐

加藤雄彦ガバナーのご来訪をいただき、3クラブ合わせて28名でお迎えした例会は成功裏に終了いたしました。

例会前に開催された会長・幹事会では、各クラブが順番にガバナーのインタビューを受け、それぞれ気になる案件や問題点の解決方法について、沢山の考え方をご教授いただきました。

例会の卓話の中では、国際ロータリーの情勢をわかりやすくご説明いただくとともに、クラブ運営について力強いご助言もいただきました。各クラブのメンバーも大きな刺激を受けたと確信しております。

今後の、一関ロータリークラブ、一関中央ロータリクラブ、花泉ロータリークラブの活動に大きな刺激をいただいた一日でした。心から感謝とお礼を申し上げます。（報告者：木村 稔／花泉RC幹事）

第4分区 宮古・宮古東ロータリークラブ（2クラブ合同）

■ 開催日：9月17日（水）　■ 会場：浄土ヶ浜パークホテル
■ 同行者：寺崎 勉 ガバナー補佐

宮古RC

宮古東RC

宮古RC、宮古東RC、2クラブ合同で公式訪問例会を開催いたしました。会長幹事会では、各クラブの現状報告、会員増強など意見交換を行いました。定款に合った活動計画書とクラブ運営との整合性についてのお話が大変参考になりました。

例会では、映像を使っての講話で３年計画の重要性、地区、各クラブの変化の必要性等をお話し頂きました。

例会終了後のガバナー歓迎会は、中村尚道市長様をお招きしての懇親会となりました。宮古RC新入会員さん方の個性的なスピーチもあり和やかな雰囲気で親睦を深める事ができたと思います。（報告者：山口 正樹／宮古東RC幹事）

ガバナー公式訪問 報告 2

第4分区 山田ロータリークラブ

■ 開催日：9月18日（木）　■ 会場：三陸味処　三五十
■ 同行者：寺崎 勉 ガバナー補佐

・会長幹事会
財団・ポリオ・米山に対する積極的な寄付。
組織図の変更（名称などの統一化）。参考資料をいただきました。
・例会
食事では、旬の秋刀魚のお刺身を堪能していただきました。
ガバナーが作詞されたソングがクオリティが高く素晴らしかったです。

（報告者：内舘 伯夫／山田RC 事務局・常任幹事）

第8分区 角田・丸森ロータリークラブ（2クラブ合同）

■ 開催日：9月23日（火）　■ 会場：あぶくま荘
■ 同行者：今野 茂男 ガバナー補佐

合同会長、幹事会の中でガバナーより国際ロータリー参加の依頼がありました。その後両会長から会員状況丸森2名増の15人、角田15名、又活動企画、定款、会計等の説明がなされた。ガバナーからは例会も含めて、本部会計も出来るだけ経費削減に努めている、年1~2回帰郷する人、故郷大好き人間など、準会員として迎える活動や、中学校に会員が出向き会社の仕事や定款の説明などをトーク、コミニケションを行うことで将来のロータリアンに繋げる活動を推進、又ウクライナの高校生と仙台育英高校生が平和を願い桜の植樹、最後に親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップについてスライドを使い説明指導がありました。

（報告者：大槻 孝雄／丸森RC幹事）

第8分区 村田・大河原・柴田ロータリークラブ（3クラブ合同）

■ 開催日：9月24日（水）　■ 会場：村田中央公民館
■ 同行者：志村 浩幸 ガバナー補佐

村田RC

柴田RC

大河原RC

加藤ガバナーは、ロータリーの存続に強い危機感を示した。変化の時代に合わせて適応し、改革をためらわない姿勢が要ると強調した。会員には、傍観するのではなく、行動による積極的な関わりを求めた。酒席に依存せず、例会の本質を見直す視点も示された。親睦は単なるフレンドシップではない。使命を共有し、同じ道を歩むフェローシップだと説いた。目標は世界平和、エンドポリオ、地域経済の活性化である。厳しい言葉の奥に、次世代を迎え入れ、クラブを持続させたい強い思いを感じた。会員一人ひとりの実践が伝統を新たに形づくるという視点が根底にある。そのために日々の奉仕と継続的な改善を積み重ねることが求められる。と強く感じた。

（報告者：山家 大／村田RC幹事）

第8分区 名取ロータリークラブ

■ 開催日：9月25日（木）　■ 会場：仙台空港カントリークラブ
■ 同行者：今野 茂男 ガバナー補佐

ガバナー・会長幹事会では、昨年度我がクラブの活動について、お褒めのお言葉をいただき本年も、より一層の活躍を期待されました。
例会後は、ガバナーより講話をいただき、ロータリーの現在の立ち位置、恒久平和に対する考え方等、特にウクライナの現状や青少年国際奉仕についての報告など、大変有意義なるお話しを伺いました。
また、ポリオ根絶の講話では、エンドポリオにより子ども達の健康が向上されるだけでなく、未来への投資をロータリーが行ったことになるというお話に感銘を受け、改めてポリオ根絶への取り組みを再認識する機会になりました。
会員一同心より感謝申し上げます。

（報告者：吉川 幸一／名取RC幹事）

ガバナー公式訪問 報告 3

第8分区 亘理ロータリークラブ

■ 開催日：9月25日（木）　■ 会場：中正旅館
■ 同行者：今野 茂男 ガバナー補佐

例会に先立ちまして会長幹事会を開催し、当クラブの奉仕活動や亘理高校インターアクトとの活動について報告いたしました。加藤ガバナーからは、義務教育校への職業講話や計画書の定款の見直し等アドバイスをいただきました。11名と少ないクラブでありますが、会員の子や孫を例会に招待し将来につながる会員増強が必要とご提案をいただきました。例会では映像とともにガバナーの思いや運営方針等をご講話いただき、これからのクラブ活動に生かしてまいりたいと思います。その後のガバナーフェローシップでは大いに懇親を深めさせていただき、とても有意義な時間を過ごすことができました。加藤ガバナーにはご多忙の中公式訪問をいただき感謝を申し上げます。　（報告者：刈谷 文俊／亘理RC幹事）

第8分区 白石ロータリークラブ

■ 開催日：9月26日（金）　■ 会場：やまぶき亭
■ 同行者：志村 浩幸 ガバナー補佐

加藤雄彦ガバナー、ご多忙の中、本当に有難うございます！白石RC会員一同、心に残る公式訪問となりました。会長・幹事会ではクラブの未来に向けたアドバイスをいただき、とても有意義な時間を過ごさせていただきました。3か年計画も順調に進んでおります。今年度、女性会員2名の会員増強も評価いただきました。例会では、最新の情報をクラブに示していただき、ポリオ基金、ロータリー財団、地区補助金等の重要性を再認識し、会員で共有できました。「検討し更新しよう」のメッセージのもと当クラブも確実に前進している事を実感しております。加藤ガバナー年度、クラブサポートミーティング等の新たな取組みで、第８分区の各クラブどうしの繋がりも強くなりました。また白石においでになる機会には、地酒と地元の食材で、おもてなししたく思います。
（報告者：清原 憲治／白石RC会長）

第1分区 盛岡東ロータリークラブ

■ 開催日：9月29日（月）　■ 会場：盛岡グランドホテル
■ 同行者：小山田 榮二 ガバナー補佐、柴田 茂 ガバナーエレクト

例会前の会長幹事会懇談会においては、終始和やかな雰囲気の中、加藤ガバナーよりご挨拶を頂きました。その後、当クラブのクラブ３年計画の具体的目標のご講評、地区予算の課題や今後予定される地区行事の周知徹底などについてたいへん分かりやすくご説明頂きました。例会では、「３-year Rolling Goals（３年間の目標）」等について詳細に解説頂き、たいへん有意義なものとなりました。加藤ガバナーの教えを絶えず忘れず「ワンチーム盛岡東ロータリークラブ」を合言葉にして活動していきたいと考えております。これからもご指導をよろしくお願いいたします。お身体に十分注意され、更なるご活躍を会員一同心よりお祈り申し上げます。　（報告者：工藤 光機／盛岡東RC会長）

第1分区 盛岡西北ロータリークラブ

■ 開催日：10月1日（水）　■ 会場：ホテルメトロポリタン盛岡
■ 同行者：小山田 榮二 ガバナー補佐、柴田 茂 ガバナーエレクト

11時30分より会長幹事懇談会を開催し、加藤雄彦ガバナーより活動計画書の内容についてのご指導をいただきました。また、標準クラブ定款の変更に伴い、委員会編成の変更の必要があること、今年度後半のスケジュールについての確認が出来ました。

12時30分からは、会員16名（在籍42名）の出席で公式訪問例会を行い、加藤ガバナーよりポリオプラスについてやクラブ優秀賞を意識することについてなど貴重なお話をいただき、とても有意義な時間となりました。なかでも、「４つのテスト」には「善意を贈れば、いつかその善意が自分に戻ってくる」との続きがある。とのお話が印象に残りました。この度のご訪問、誠に有難うございました。（報告者：佐藤 保／盛岡西北RC会長）

ガバナー公式訪問 報告 4

第1分区 盛岡西ロータリークラブ

■ 開催日：10月1日（水）　■ 会場：アートホテル盛岡
■ 同行者：小山田 榮二 ガバナー補佐、柴田 茂 ガバナーエレクト

加藤ガバナーをお迎えし、ガバナー訪問例会を開催いたしました。

懇談会においては、会員拡大や国際交流の推進、事務所統合による効率化、さらにインターシティ・ミーティング(IM)での野球指導者向け講演実施など、今後のクラブ運営に関する多岐にわたる事項について協議を行いました。

その中で、身の丈に合った無理のない運営方針を確認するとともに、盛岡8クラブによる合同事務所構想については、新たな連携の可能性と地域社会とのより強固なつながりへの期待が高まりました。

例会では、加藤ガバナーよりロータリーの歴史と行動計画、エンドポリオやウクライナ支援の取り組み、また賦課金削減や会計処理統一に関する報告をいただきました。特に、「伝統とは私たちを作るのではなく、私たちが伝統を作るものである」というお言葉が深く印象に残りました。

本例会を通じて、クラブとしての方向性を再確認し、より一層の奉仕と親睦の充実に努めてまいります。（報告者:高橋 功／盛岡西RC幹事）

第1分区 盛岡北ロータリークラブ

■ 開催日：10月2日（木）　■ 会場：ホテルメトロポリタン盛岡 ニューウイング
■ 同行者：小山田 榮二 ガバナー補佐、柴田 茂 ガバナーエレクト

会長幹事会にて、全体としてお褒めの言葉をいただき感謝しております。盛岡北ロータリークラブの良さは活発な奉仕活動と雰囲気の良い親睦活動です。その様子を2025-2026年度より初めたSNSをご覧いただきながらお伝えさせていただきました。さんさ踊りでの県外観光客の受け入れ事業、こども図書館への本棚寄贈。少年野球大会におけるボールと横断幕の寄贈。こども食堂との共催イベントの田植え稲刈り体験会。この3ヵ月間での奉仕活動を報告させていただきました。

例会におきましては会場のしつらえや準備に関しましてもお褒めの言葉をいただきました。当日は26名での例会開催となり、芋の子汁やお月見だんごなど秋らしい季節を感じる和食を楽しみました。（報告者：渡邉 史隆／盛岡北RC幹事）

第1分区 盛岡南ロータリークラブ

■ 開催日：10月2日（木）　■ 会場：盛岡グランドホテル
■ 同行者：小山田 榮二 ガバナー補佐、柴田 茂 ガバナーエレクト

加藤ガバナーより活動計画についての感想

定款について2年前の目時年度のときの改定で加藤ガバナーが気になっていた点は訂正されている。細則はグラブ毎の実情にあわせて実施することが望ましい。11月30日にクラブ活性化セミナーの開催を予定に追加することやガバナーエレクト壮行会、監査会、また台北で行われます国際大会への参加呼びかけ。本年度初めにマリオ会長が退任された理由を小笠原会長へ説明されました。

インターアクトや会員増強に取り組むことは良いが、無理する必要は無い。クラブの実情に合わせて得意な部分に取り組む事が望ましい。みらいそうぞう委員会に力をいれて活動することは良いと思います。

小笠原会長より基本方針、戦略、クラブ活動計画などの説明

会員増強にも力を入れて当初44名だった会員を現在47名になり、3ヶ年計画で50名にしたいとしていたが、引き続き力を入れていく。また、南クラブは短期でやめる会員が少ないため、よく理解してもらい入会する。

社会奉仕事業で寄付事業を続けて来たが、今年度も向中野小学校への寄贈予定。

加藤ガバナーより無理な会員増強により短期でやめる会員を出さないようにする事や岩谷堂RCや平泉RCが終結したこと。また地区補助金についての動向について説明がありました。

（報告者:小山 剛三郎／盛岡南RC副幹事）

第1分区 盛岡ロータリークラブ

■ 開催日：10月3日（金）　■ 会場：ホテルメトロポリタン盛岡 ニューウイング
■ 同行者：小山田 榮二 ガバナー補佐、柴田 茂 ガバナーエレクト

会長幹事懇談会では、加藤ガバナーより、台北で開催の世界大会での2520地区の取り組み、クラブ活性化セミナー、オクラホマ交換留学など今後の活動予定のお話、国際ロータリー標準定款に基づく委員会構成への見直し、会員拡大については無理せず、しっかりとした人財の増強を目指してとのご指導を頂きました。

例会ではロータリーと共に歩む旅に例えられてお話を頂き、国際ロータリーのビジョン、今年度の地区目標の「検討し、更新しよう」の具体的な取り組みなどとても分かり易くロータリーへの理解が深まりました。地区補助金への積極的な取り組みは当クラブでももっと検討してくきっかけになったと感じました。（報告者：諏訪 泰幸／盛岡RC幹事）

新入会員紹介

気仙沼南 RC

たけだ　みつひろ
武田　充広
2025.7.1 入会
鉄工業

気仙沼南 RC

むらかみ　とおる
村上　徹
2025.7.1 入会
介護施設

仙台冠 RC

きむら　たろう
木村　太郎
2025.9.1 入会
サービスWEB広告

二戸 RC

こまつ　ともえ
小松　友枝
2025.9.2 入会
和菓子製造販売

二戸 RC

たなか　さとる
田中　覚
2025.9.2 入会
不動産業

仙台 RC

かとう　まさゆき
加藤　正幸
2025.9.2 入会
通信建設業

仙台 RC

ささき　よしゆき
笹氣　義幸
2025.9.2 入会
印刷

仙台 RC

たかはし　よしかず
髙橋　芳一
2025.9.2 入会
損害保険

仙台 RC

にしむら　てるゆき
西村　輝幸
2025.9.9 入会
生命保険

丸森 RC

かなもり　ひろゆき
金森　裕之
2025.9.13 入会
林業

丸森 RC

なかむら　ひでかず
中村　秀和
2025.9.13 入会
建設業

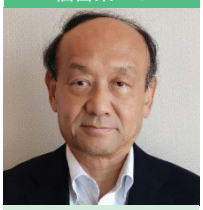
仙台青葉 RC

たかはし　まさき
高橋　雅紀
2025.9.24 入会
内科

塩釜 RC

おおえ　れいじ
大江　玲司
2025.9.26 入会
水産・観光業

仙台東 RC



ひさみち　かねひこ
久道　周彦
2025.9.29 入会
学校設備コンサルティング

盛岡中央 RC

いわした　しゅうじ
岩下　修二
2025.9.30 入会
土木業

盛岡中央 RC

きくち　ゆうすけ
菊池　祐介
2025.9.30 入会
生命保険

花巻 RC

おざわ　のりお
小澤　憲男
2025.10.7 入会
産業機械販売

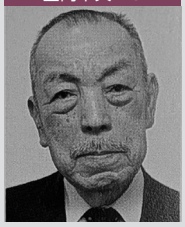
退会者報告

クラブ名	氏　　名	職業分類	退会日
仙台 RC	中山　　修	不動産鑑定	2025.9.2
宮古 RC	吉田　栄幸	ステベ	2025.9.30
仙台 RC	阪下　達哉	ビール製造・販売	2025.9.30
仙台 RC	鈴川　辰男	広告業	2025.9.30
仙台北 RC	畑　　和治	損害保険	2025.9.30
花巻 RC	市村　　律	公益経済団体役員	2025.10.31

訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

盛岡中央 RC



高橋　幸雄
2025年9月14日ご逝去
（享年103歳）
1988年11月19日入会

クラブ会員数・寄付状況

9月ロータリーレート$:	147

分区		No.	クラブ名	会員数（内女性）	財団寄付累計額（ポリオ指定）		米山寄付累計額
第一分区	久慈・二戸	1	久慈	24(1)	67,620	0	23,000
		2	二戸	45(5)	0	0	0
		3	種市	17(0)	0	0	0
	盛岡	4	盛岡	70(2)	501,423	63,869	435,000
		5	盛岡北	35(3)	0	0	68,000
		6	盛岡西	21(2)	0	0	0
		7	盛岡南	47(2)	485,100	147,000	46,000
		8	盛岡東	27(4)	27,376	27,376	15,000
		9	盛岡中央	24(4)	0	0	57,500
		10	盛岡西北	42(5)	621,516	0	160,000
		11	盛岡滝ノ沢	4(3)	0	0	0
分区合計				356(31)	1,703,035	238,244	804,500
第二分区	花巻・北上	12	花巻	30(2)	132,300	0	30,000
		13	花巻南	30(1)	167,352	9,865	87,000
		14	花巻北	41(3)	0	0	0
		15	北上	37(4)	0	0	255,500
		16	北上西	19(4)	0	0	119,000
		17	北上和賀	21(4)	0	0	31,500
	奥州	18	前沢	9(0)	147,000	0	45,000
		19	水沢	16(2)	0	0	0
		20	奥州水沢東	36(7)	0	0	0
分区合計				239(27)	446,652	9,865	568,000
第三分区	一関・平泉	21	花泉	10(2)	0	0	10,000
		23	一関	13(1)	131,802	0	39,000
		24	一関中央	14(6)	60,836	0	256,000
	大船渡・高田・千厩・気仙沼	25	大船渡	28(2)	0	0	56,000
		26	大船渡西	31(5)	19,110	14,700	75,000
		27	陸前高田	17(0)	51,703	0	17,000
		28	千厩	22(3)	0	0	0
		29	気仙沼	19(0)	0	0	0
		30	気仙沼南	35(1)	0	0	105,000
分区合計				189(20)	263,450	14,700	558,000
第四分区	遠野・釜石	31	釜石	20(1)	0	0	60,000
		32	釜石東	29(3)	0	0	0
		33	大槌	6(0)	0	0	0
		34	遠野	10(2)	0	0	0
	山田・宮古	35	宮古	29(1)	0	0	60,000
		36	宮古東	20(1)	0	0	70,000
		37	山田	19(1)	0	0	0
分区合計				133(9)	0	0	190,000
第五分区	三陸	38	石巻東	41(0)	301,350	301,350	20,500
		39	石巻西	31(3)	227,850	0	0
		40	石巻南	20(1)	0	0	9,500
	登米・栗原	41	栗駒	13(1)	0	0	0
		42	築館	17(2)	0	0	0
		43	佐沼	57(6)	211,104	0	100,000
		44	若柳	26(5)	0	0	0
分区合計				205(18)	740,304	301,350	130,000
第六分区	大崎	45	古川	42(3)	0	0	41,000
		46	古川東	42(1)	248,380	0	100,000
		47	岩出山	11(1)	0	0	0
		48	加美	19(0)	0	0	0
	松塩	49	大和	5(0)	0	0	0
		50	松島	5(0)	14,700	0	10,000
		51	塩釜	28(1)	7,938	0	81,000
		52	塩釜東	11(1)	5,069	5,069	0
		53	多賀城	20(2)	43,205	40,265	20,000
			多賀城1300	23(7)	0	0	0
		54	利府	7(1)	0	0	0
		55	七ヶ浜	13(1)	0	0	0
分区合計				226(18)	319,291	45,333	252,000
第七分区	仙台青葉	56	仙台	123(6)	4,162,071	155,186	1,062,000
		57	仙台泉	53(3)	47,693	0	243,000
		58	仙台青葉	45(0)	0	0	110,000
		59	仙台冠	21(4)	0	0	0
		60	仙台レインボー	11(3)	26,035	0	30,641
	仙台広瀬	61	仙台南	47(3)	619,549	0	238,000
			仙台南一白石衛星	18(8)	0	0	0
		62	仙台北	58(2)	173,460	173,460	147,500
		63	仙台東	52(0)	14,700	0	127,500
		64	仙台西	38(1)	0	0	95,000
		65	仙台宮城野	29(1)	9,895,778	4,932,886	145,000
		66	仙台奥羽	24(4)	72,994	0	24,000
分区合計				519(35)	15,012,281	5,261,533	2,222,641
第八分区	阿武隈	67	岩沼	26(2)	0	0	62,500
		68	名取	35(3)	0	0	52,500
		69	亘理	11(0)	92,610	13,230	22,000
		70	角田	15(0)	0	0	0
		71	丸森	15(0)	0	0	0
	蔵王	72	白石	20(3)	26,460	0	27,000
		73	柴田	19(0)	30,142	10,139	0
		74	村田	13(1)	0	0	0
		75	大河原	31(4)	91,243	0	90,000
分区合計				185(13)	240,455	23,369	254,000
地区合計				2,052(171)	18,725,469	5,894,394	4,979,141

RAC(4)	1	宮古RAC	5(2)
	2	古川東RAC	6(2)
	3	仙台RAC	3(0)
	4	仙台泉RAC	26(8)
RAC合計			40(12)

2024-2025年度　ロータリー財団寄付認証バナー、感謝状贈呈

■ロータリー財団より「2024-2025年度の寄付認証バナー・感謝状」がお祝いの書簡とともに認証クラブに贈られました。

RC名	年次基金への一人当たりの寄付額上位3クラブ	100%ロータリー財団寄付クラブ	「Every Rotarian,Every Year」クラブ
花巻RC	1位　$388.11	○	○
築館RC	2位　$310.53	○	○
遠野RC	3位　$293.61		
一関中央RC		○	
石巻東RC		○	
石巻南RC		○	○
石巻西RC		○	○
盛岡北RC		○	
盛岡西北RC		○	○
大槌RC		○	○
仙台レインボーRC		○	○
		10RC	7RC

年次寄付一人当たり
第1位 バナー

100% ロータリー
財団寄付クラブ
バナー

Every Rotarian
Every Year クラブ
バナー

■End Polio Now: 歴史を作るカウントダウンキャンペーン感謝状

盛岡東RC	少なくとも1,500ドルを ロータリーのポリオ 根絶活動に寄付した クラブ
石巻東RC	
佐沼RC	
仙台RC	
仙台泉RC	
仙台北RC	

寄付報告（9月認証）

■ロータリー財団

認　証	所　属	氏　名
ベネファクター	盛岡東RC	柴田　茂
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー	盛岡中央RC	藤原　誠司
	北上和賀RC	田鎖　幸司
	松島RC	佐藤稜威彦
	仙台RC	大槻　昌夫
ポール・ハリス・フェロー	盛岡中央RC	佐々木大介
	大船渡西RC	古内　一二
	仙台南RC	安部　匡晃
	仙台南RC	福田　晃也
	仙台南RC	橋本　展行
	仙台南RC	早川　進一
	仙台南RC	平川　修一
	仙台南RC	砂金　英輝
	仙台南RC	菊池　修太
	仙台南RC	木皿　譲司
	仙台南RC	本木　宏昭
	仙台南RC	沼田　哲宏
	仙台南RC	杉村　謙
	仙台南RC	髙萩　友希
	仙台南RC	高橋　卓誠
	仙台南RC	田中　修
	仙台南RC	吉田　英樹

■ロータリー米山記念奨学会

表彰名	所　属	氏　名
米山功労者メジャードナー	北上RC	小原　正至
米山功労者マルチプル	北上RC	高橋　信一
	北上西RC	伊藤　剛史

表彰名	表彰クラブ
米山功労クラブ	北上西ロータリークラブ

第2520地区ホームページからのお知らせ

※詳細はホームページをご覧ください

ロータリー奉仕のニュースレター 2025年10月を掲載しました
コーディネータニュース2025年10月を掲載しました
文庫通信　394 号:ロータリアン千玄室元 RI 理事を偲んで~ご講演よりをご案内します
多賀城1300ロータリー衛生クラブの初の例会写真を掲載しました

例会変更のお知らせ

各クラブ最新情報は2520地区ホームページ＞クラブ一覧をご覧ください。

訂正とお詫び

ガバナー月信10月号P4
地区米山記念奨学会委員長　白鳥　淳氏の所属クラブ
仙台RC × → 築館RC ○

ガバナー月信10月号P5
米山記念奨学会学友会会長　文　慶喆氏の所属クラブ
仙台RC × → 所属クラブなし ○

でございました。
謹んでお詫び申し上げ、訂正させていただきます。

編集後記

ようやく朝夕は涼しく秋を感じる季節になりました。
気がつけば、月信、ホームページの編集を重ねてあっという間に5ヶ月目となりました。
立ち上げ当初は少ないメンバーで大変な状態でして、ミスも多くご迷惑をお掛けいたしました。この場をお借りしてお詫び申し上げます。
まだまだミスもありますが、編集チームのみなさんとの連携もスムーズに回るようになりまして、これからは品質面を重視しながら、チームのみなさんと楽に楽しく進められるように工夫して行きたいと考えております。
引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。
月信・ホームページ・ロータリーの友担当幹事　三浦 泰弘（仙台RC）